

YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

Rotary
横浜旭ロータリークラブ



UNITE
FOR
GOOD
よいことのために手を取りあおう



ガールスカウトとクリーン作戦

2025-26年度 RI 会長／フランチエスコ・アレツォ
RI.D2590ガバナー／大塚 正一
横浜旭RC会長／五十嵐 正



第12回 チャリティコンサート



防災先進国イタリアに学ぶ講演会開催

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区万騎が原33／〒241-0836
TEL.080-1215-6668／FAX.045-362-0024
http://yokohamaasahirc.cho88.com
Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 二俣川駅ジョイナステラス3／4Fコミュニティサロン
例会日 月3回水曜日／12時30分～1時30分

2025 年 9 月 17 日 第 2 5 9 2 回 例 会 VOL.57 No. 9

■司 会 SAA 北澤 正浩

■開会点鐘 会長 五十嵐 正

■斉 唱 手にてつないで

SL 目黒 恵一

■出席報告

会員数	20名	本日の出席数	16名
本日の出席率	84.21%	修正出席率	78.95%

■本日の欠席者

中谷、宋、二宮、

■オンライン出席者 福村

■ゲスト

小林 三季様（旭警察署長）

志賀 由紀様（旭警察署・住民相談係）

万 しおん様（R 財団奨学生）

■会長報告 五十嵐 正

皆さま、こんにちは。本日も例会にご出席いただきありがとうございます。

先日、朝日新聞に「対話でさぐる 共生の未来」という記事が掲載されていました。「誰一人取り残さず、すべての人が暮らしやすい持続可能な地球と社会について考える」という理念で、70人近い登壇者が議論したそうです。ところが、「登壇者は皆元気そうな人ばかりで、障害当事者や支援者は一人もいなかった。いったい誰と何と共生するつもりなのか」と投稿者

が問題提起をされていました。

私はこれを読んで、共生社会とは「言葉だけで語るものではなく、実際に誰とつながり、どんな行動を選ぶか」で初めて実現するものだと強く感じました。

前回ご報告した防災エコバッグの制作についても、まさにこの「共生社会」という視点が浮かびました。私たちは、防災エコバッグに防災機能を追加して安全性を高める案も検討しましたが、結果として就労支援事業所の利用者が無理なく縫製できるスタイルを選びました。機能だけを優先するなら防災生地を選んだかもしれませんが、今回は地域の仲間と一緒に取り組める形を重視しました。

これまでクラブで行ってきた多くの奉仕活動—例えば、地域の清掃活動や青少年への支援、災害時の支援活動も、突き詰めれば「共生社会」につながっています。しかし、私たちがそれをあえて「共生社会をつくるための奉仕だ」と前面に出してきたことは、あまりなかったのではないのでしょうか。

今回、機能よりも共生を選んだ判断は、今後の奉仕活動を考えるうえで新たな指針になるように感じています。つまり、これから奉仕活動を企画する際に、「共生社会に近づく選択になっ

ているか？」を一つの判断基準として考えて行ければと考えます。

このプロジェクトは誰とつながるか？誰が取り残されていないか？どんな協働の形があるか？

世界では、ロータリークラブが障害者と健常者の混合スポーツ大会を支援したり、発展途上で障害児の教育プログラムを作ったりと、共生を実践する活動が増えています。

インドではポリオ撲滅活動の次のステップとして、ポリオ後遺症のある若者の就労支援プロジェクトが始まりました。

また、カナダではロータリアンが地元の学校と協力して、移民や難民の子どもたちと地域の子どもたちが一緒に学ぶプログラムを作っています。

どれも「誰一人取り残さない」という理念を行動で示した素晴らしい事例です。

私たちのクラブでも、三ヶ年プロジェクトの最終目標として「防災を軸とした地域連携の仕組みづくり」を掲げています。この取り組みも、まさに地域の人たちとつながり、共に生きるための仕組みを作る挑戦です。

これからも皆さまの知恵とアイデアをいただきながら、共生社会の実現に少しでも近づくような奉仕活動を、一歩ずつ積み上げていきたいと思います。

それでは、本日も有意義で楽しい例会となりますよう、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

■幹事報告

関口 大樹

※例会臨時変更のお知らせ

○横浜南ロータリークラブ

10月11日(土) 特別休会

■米山梅吉記念館訪問のご案内

親睦委員長：佐藤 勉

米山記念奨学委員長：安藤公一

『2025年秋の親睦交流—米山梅吉記念館訪問』のご案内

初秋を感じる季節となりました。さて、今年

も恒例の秋の親睦旅行を企画いたしましたので、ご案内させていただきます。今回の旅行先は多数ご要望をいただきました『米山梅吉記念館訪問』となりましたので、多くの皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時：2025年10月1日(木)

◆行程

9：15 二俣川駅北口周辺集合

9：30 バス出発

10：50 米山梅吉記念館訪問

12：30 昼食（うなぎ重）

13：30 三嶋大社参拝

15：00 伊豆わさびミュージアム体験観光

17：30 二俣川駅北口前（到着・解散）

■古川特別会員からひと言



特別会員として、皆さまと親しくお付き合いさせていただいておりますことに、心より感謝申し上げます。

先日は、ちょうど私の誕生日に北沢さんを始め皆さんからお祝いをいただき、本当にありがとうございました。暑い中、お心遣いをいただき感謝いたします。

いろいろなことがある時代ですが、やはり「仲間を大切にすること」「人とのつながりを大事にすること」は、年を重ねるほどに大切だと感じています。

最近読んだ新聞でも、さまざまな方々が協力しながら暮らす“共生”の形が紹介されておりました。

私たちの地域も、そんな温かい社会を築いていけたらと思います。

このあと旭警察署の小林署長のお話を伺える

とのことで、しっかり学ばせていただきます。
(要約・文責 五十嵐)

■財団グローバル奨学生 方しおん様



横浜旭ロータリークラブの皆様
ご無沙汰しております。2024-25 年度グローバル奨学生の方（ばん）しおんです。

昨年の9月4日に横浜旭ロータリークラブの例会を訪問させていただいた際には、留学に向けて温かく送り出していただきありがとうございました。1年間、英国・ロンドンの University College London にて生態経済学の分野で大学院留学をさせていただきました。9月1日に修士論文を提出しまして、11月に正式にコースを修了します。

ロンドンに着いてから、ホストクラブのカナリーワーフロータリークラブのロータリアンの方々に温かく向かい入れていただき、個別に面談もしていただきました。

留学生向けのオリエンテーションでは最近多いスマホの盗難など、安全面の注意もいただきました。今年はロンドンには38名のロータリー財団のグローバル奨学生がおり、日本、韓国、アメリカ、ケニア、ドイツなど世界各国の学生と仲良くなり、自分で留学に行くよりも何倍も交流関係が広がり、非常に充実した留学生活を送らせていただくことができました。

卒業後は、学んだ環境と経済の両立に関する知識を活かしてビジネスへのコンサルティング、または環境NGOで各国の自然を回復する仕事に就きたいと思い、イギリスで転職活動をしています。直近は日本企業向けに欧州の専門家を紹介する人材紹介会社に採用いただきたい

ので、10月からそちらで働きながら次のキャリアを探る予定です。

また留学生活の詳細は、写真と合わせて11月5日の卓話にて報告させていただきます。

横浜旭ロータリークラブの皆様、1年間留学のご支援とご声援をいただき、誠にありがとうございました。

■ニコニコ BOX

佐藤 利明・真吾／①旭警察署小林署長をお迎えして。公務ご多忙の中、当クラブ例会にお越し下さり、有り難うございます。②古川特別会員、例会参加有り難うございます。③R財団奨学生方さんようこそ。

新川 尚／①小林旭警察署長、本日の卓話よろしく願います。②方さん、お久しぶりです。関口 大樹／旭警察署長小林様、本日の卓話よろしく願います。

五十嵐 正／小林旭警察署長、方しおんさん、ようこそお出で下さいました。本日は卓話よろしく願います。

目黒 恵一／旭警察署長小林三季様、お忙しい所、卓話よろしく願います。

市川 慎二／①旭警察署長小林三季様、志賀様、いつも大変お世話になっております。本日は卓話よろしく願ひ致します。②万しおんさんお久しぶりです。③古川先生ようこそお越し下さいました。

北澤 正浩／旭警察署長小林署長、本日の卓話よろしく願ひ致します。方しおんさんようこそ。

佐藤 勉／旭警察署長小林署長様、本日よろしく願ひ致します。

関澤 信吾／旭警察署長小林様、本日の卓話どうぞよろしく願ひ致します。

中島 徹／旭警察署長小林様、本日の卓話よろしく願ひ致します。

安藤 公一／旭警察署長小林様、本日は宜しく願ひ致します。

岡田 隆／神奈川県旭警察署長小林様、本日はお忙しい中ありがとうございます。卓話楽しみにしております。

■卓話

旭警察署長 小林 三季様



横浜市港南区出身。趣味は野球。

これまで主に警備部門の各課を歴任され、直近では磯子警察署長を務められた後、警察本部総務部留置管理課長を務められ、本年3月21日付けで、旭警察署長として着任されました。

就任するにあたり、仕事をする上で大切にしている座右の銘として「正義なき権力は暴力、力なき正義は無力」を掲げ、署員に対して

- ①心と身体の健康。
- ②清く、正しく、強く、そして優しく、愚直な公務員であること。
- ③対決意識、目的意識及び問題意識の堅持を指示し、署員一丸となって管内治安維持に務

められております。

■「最近のロータリーに関する話題」

世界中のロータリーに関して、最近注目された動きの一つが、2025年規定審議会での決定です。代表議員たちによる議論の末、人頭分担金の増額と、新クラブ加盟に必要な会員数を引き下げる立法案が承認されました。

人頭分担金は段階的に増額され、クラブの運営コスト上昇に対応する狙いがあります。一方で、加盟会員数の要件が従来の20名から15名へと緩和されたことで、新しい形のクラブ設立へのハードルが下がるとの期待もあります。

これらの変革は、ロータリーの柔軟性を高め、さまざまなライフスタイルや年代の方を受け入れやすくする意図があるようです。私たちのクラブも、こうした国際ロータリーの方針を踏まえながら、「若い世代・多様なメンバー層」へのアプローチをさらに考えていきたいと思えます。

■次回例会

10/15 増田会員卓話

〈街の防災事情〉北澤会員

2025-26年度

第7回 臨時理事役員会議事録

■日時 25年9月10日 13時30分 ■出席者 北澤、安藤、目黒、佐藤勉、新川、五十嵐、

(敬称略) 関口(書記)

■場所 例会場

■欠席者 岡田、福村

【審議事項】

- 1、2月25日瀬谷クラブとの合同例会につき
瀬谷クラブとしてはお受けできないという連絡がありました。
理由といたしましては、合同例会ではなくイベントになっているのではないかとのことです。
⇒横浜旭としては、クラブ広報と会員増強にとってもいい内容と判断し、横浜旭単独で、開催することとしました。
⇒瀬谷クラブとは時期を改め、合同例会の開催を検討します。
- 2、地区大会の会員登録については、全員登録とする。
- 3、台湾のクラブから姉妹クラブの依頼が届きましたが、今回は突然のこともあり、準備不足といった観点から見送ることとしました。